

## 第27回 FEIAP 総会および第5回 Convention 参加報告

### 1. FEIAP(アジア・太平洋技術者協会連盟)の概要

FEIAPは、当該地域のエコミー(国あるいは地域といった単一経済体)に所属する技術士会相当機関(日本代表は日本技術士会)の集合体である。ASEAN 諸国を中心に周辺エコミーである日本、韓国、台湾、中国、オーストラリア、アフリカ諸国、太平洋諸国の一部も含み、毎年2回(GA:総会と EXCO Meeting:執行委員会)が開催される。FEIAPとは別に、CAFEO (ASEAN 技術者協会連盟国際会議)という ASEAN 諸国における技術者全体の会議があるが、ASEAN 諸国以外のエコミーにも開放されているため、参加エコミーは FEIAP とほぼ同一である。そのため、通常 EXCO Meeting は、CAFEO 開催期間中に Session の一部として実施される。

なお、今回の総会は中国(西安)で開催された。

### 2. FEIAP 総会への出席目的

日本は、2004年1月に日本工学会から日本代表として技術者資格を代表する団体である日本技術士会に FEIAP 加盟を譲りたいとの申し出があり、2004年5月に開催された FEIAP 第1回執行委員会にて加盟が承認された。以後、日本技術士会は、執行委員会メンバーとして選出された年度以外の年も、常設への出席のために毎年参加している。日本が FEIAP に日本技術士会が参加することは加盟各国と正式交流が可能となり、周辺エコミーとの人的および技術情動的交流の場が提供される機会となっている。また、工学教育の認定に関する諸外国の取り組みや連携に関する動向を確認する機会でもあり、総会に出席することで技術士会にこれらの地域の最近の情報や動向を収集することは、技術士会および当該地域で活躍される技術士の方の活動に役立つとともに、これらの活動を通じて技術士会はこの地域における周辺エコミーに対して支援・協力を行うことを目的としている。

### 3. 第27回 FEIAP 総会および第5回 Convention の概要

第27回 FEIAP 総会および第5回 Convention の開催概要は以下のとおりである。

日 時：2019年6月29日(土)～30日(日)

場 所：中国 西安 Shangri-La Hotel

参加者：稲垣正晴、鈴木久尚

6月29日は、①全体会議、②基調講演 I、II、③円卓会議、⑤ワークショップ が開催され、全体会議では5名の講演者による今後のエンジニアリング教育のあり方等についての講演があった。また、基調講演は、全体で9講演でありそのすべてがエンジニアリング教育に関するものであった。円卓会議のテーマは、FEIAP 諸国と一帯一路地域における技術者の流動性の展望についてであった。なお、この円卓会議には7名のうち日本側の代表として稲垣が参加した。ワークショップは、2つの常設委員会(自然災害とその対策、環境エンジニアリング)と、新設された WG(若手技術者の教育)であった。

6月30日は、まず各常設委員会(自然災害と対策: Natural Disaster and Preparedness、環境エンジニアリング: Environmental Engineering、情報およびコミュニケーション技術: Information and communication technologies、技術者教育: Engineering Education)からの報告があり、その後第27回 FEIAP 総会が開催された。総会では、2018年の会計と2019年の予算の報告があり確認された。続いて FEIAP 人事について、2019～2021年の FEIAP 会長として Prof Dr Huang Wei(黄 維) 西北工業大学副学長が就任するとの報告があった。最後に、第11回 EXCO Meeting が2019年11月20～22日にオーストラリア・メルボルンで開催することなど今後の予定が定められた。

### 4. 所 感

東南アジアでは技術者の相互認証も始まろうとしている中で、中国の存在感が増している。このような状況下において、日本技術士会としては、今後とも従来通り FEIAP での活動をもとに個別のエコミーとの関係を深め、常設委員会などにおいて積極的に貢献することが重要であると考えます。

以 上